

取付組立要領書

F1・F2R セット

取付組立は、必ず指定代理店、および
指定取付業者が行ってください。

「介護リフトつるべ」を安全にご使
用いただくために、取付組立まえに、
本書を必ずお読みください。



組立の前に用意する物

- 水準器 ●メジャー ●六角レンチ (2.5mm, 6mm) ●マーカー ●スパナ M8 (No.13)・M10 (No.17)
- カッターナイフ ●脚立 ●⊕⊖ドライバー ●イレクターパイプ用カッター ●丸ヤスリ
- サンアロー ●シリコンコーキング材

安全上の注意

安全に介護をしていただくために、安全上・取扱上の重要なポイントについては安全表示ラベルを本機に貼付しています。また、安全表示ラベルとともに取扱説明書に示した表示と表示内容は次のようになっています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険性がある内容を記載しています。



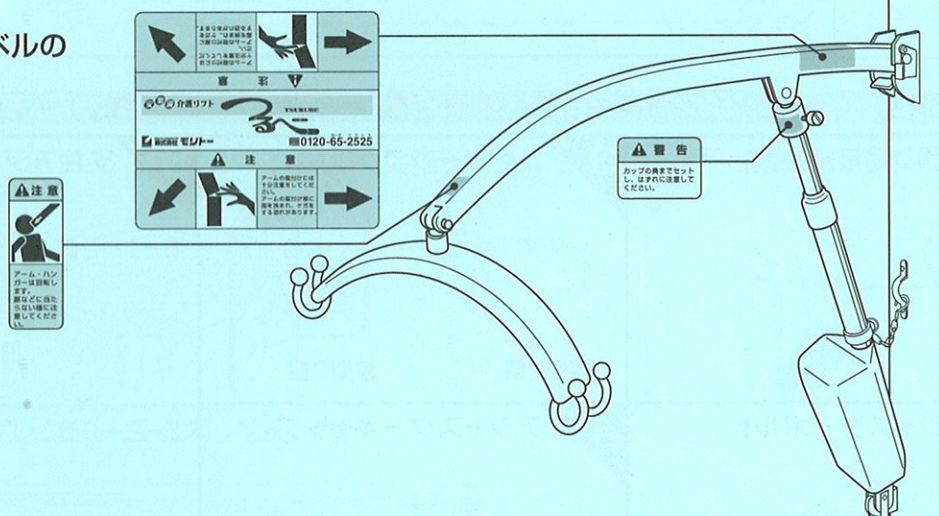
注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生する内容を記載しています。

■安全表示ラベルについて…

- 本機には、安全にご使用いただくために安全表示ラベルが貼付してあります。必ずお読みいただき、これらの注意に従ってください。
- 安全表示ラベルが破損したり、なくなった場合または、読めなくなった場合は新しいラベルに貼換えてください。
- 安全表示ラベルは、お買い上げいただいた販売店に注文してください。

安全表示ラベルの 貼付位置

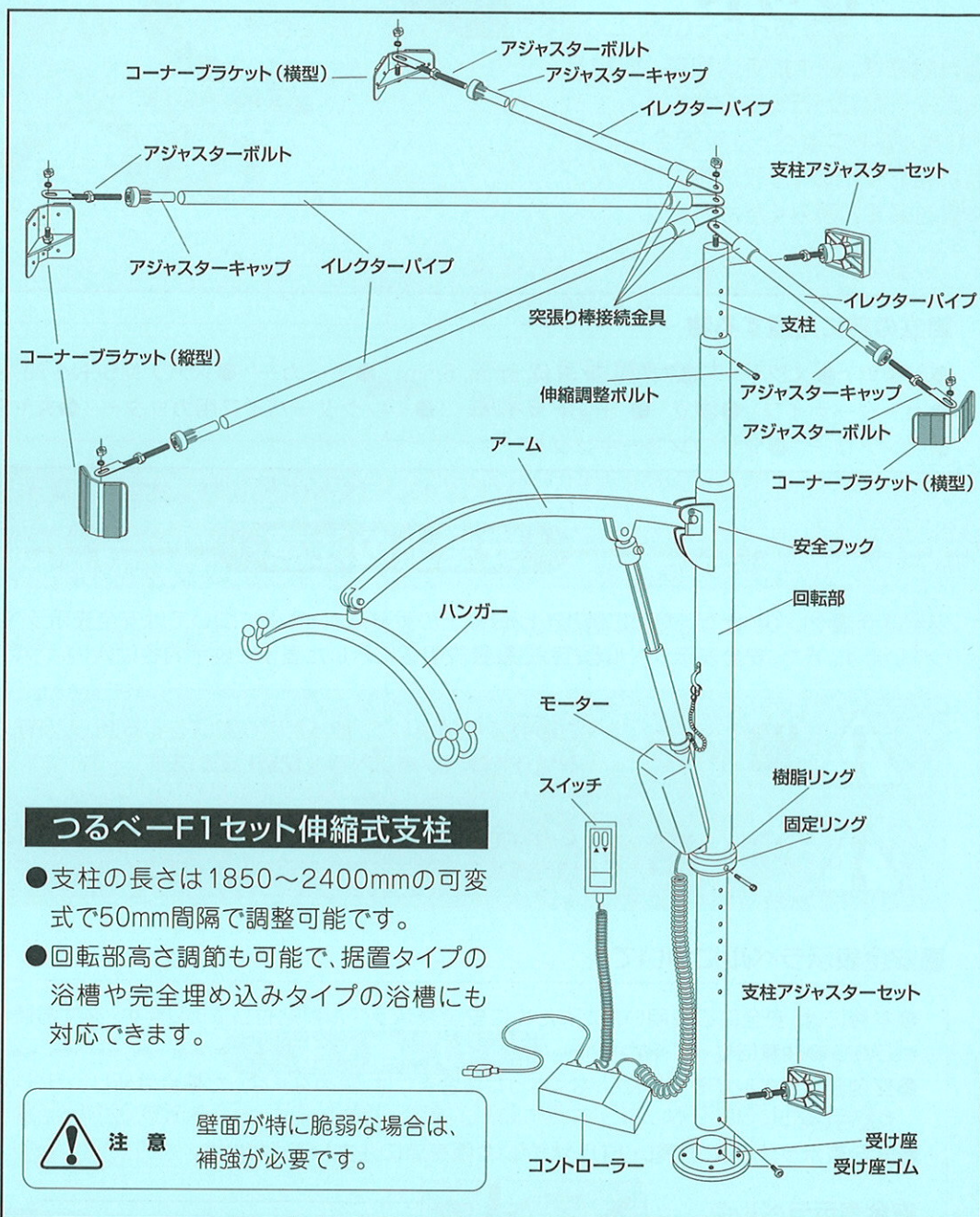


MORITOH CORPORATION

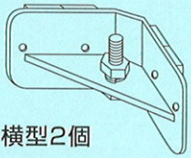
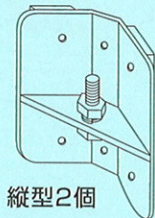
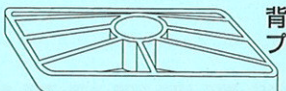
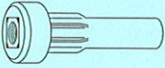
株式会社 モリトー

1. 部品図および組立分解図

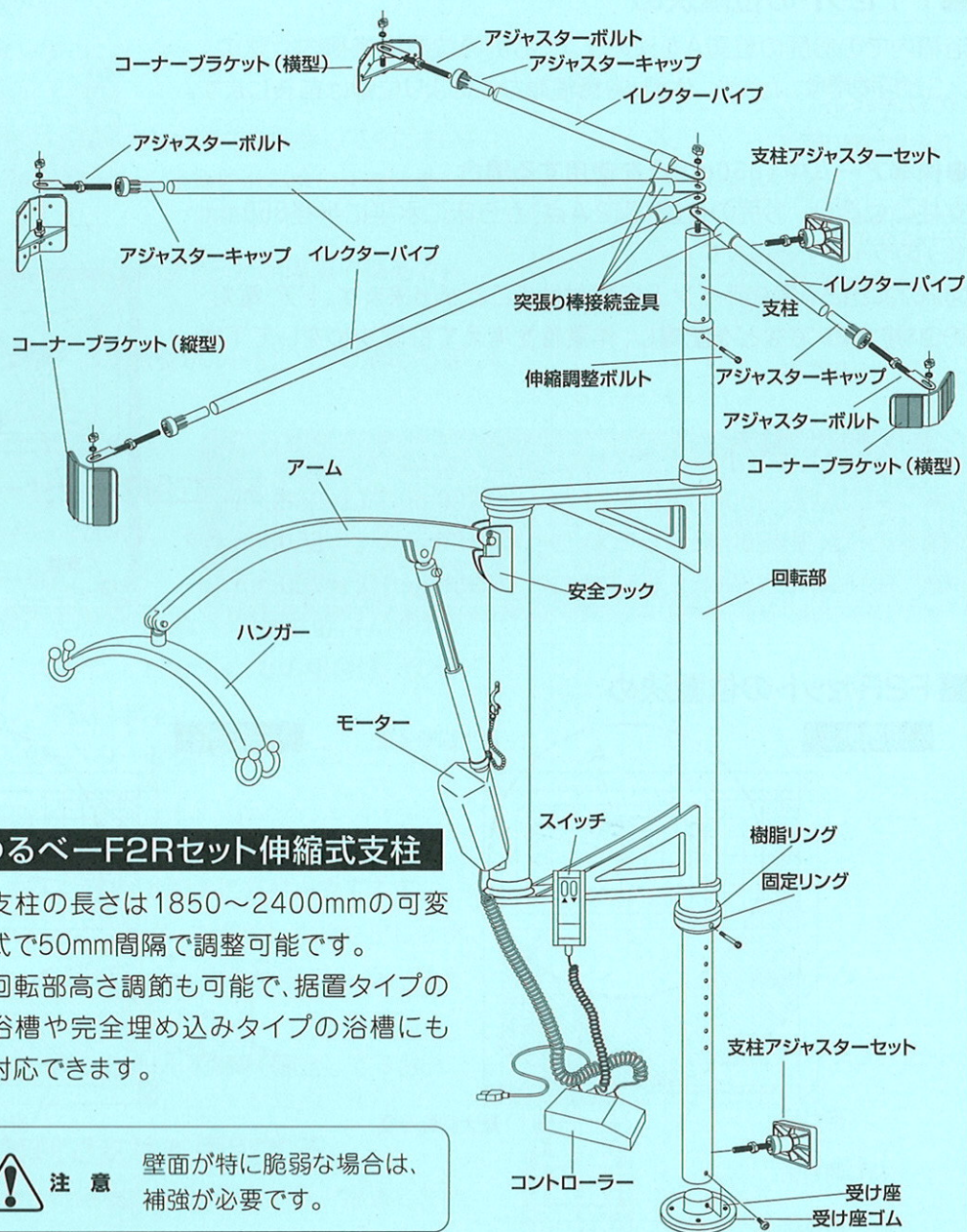
F1セット



パーツリスト

1 突張り棒接続金具  4個	3 コーナーブラケット  横型2個  縦型2個	5 支柱アジャスターセット 5-1...2個  支柱アジャスター 5-2...2個  イレクターパイプ (40m/mカット)  背面プレート 5-3...2個
2 アジャスターボルト  4個	4 アジャスターキャップ  4個	

F2R セット



つるべF2Rセット伸縮式支柱

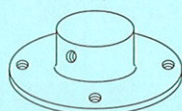
- 支柱の長さは1850～2400mmの可変式で50mm間隔で調整可能です。
- 回転部高さ調節も可能で、据置タイプの浴槽や完全埋め込みタイプの浴槽にも対応できます。



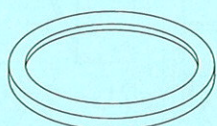
注意

壁面が特に脆弱な場合は、補強が必要です。

6 受け座と受け座ゴム



1個



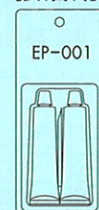
1個

7 突張り棒フタ



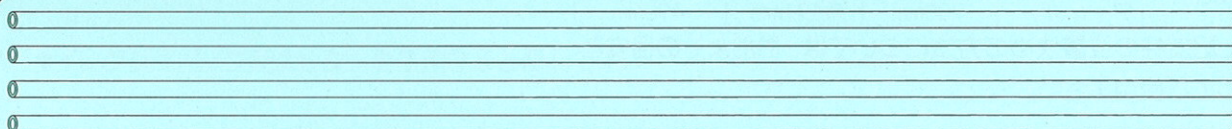
4個

8 接着剤・サンドペーパー



1個

9 突張り棒 (イレクターパイプ) / 2m 4本



2. 支柱の位置決め

■ F1セットの位置決め

浴槽内でのお尻の位置Aを決めます。お尻の位置は浴槽内寸法の1/3が目安です。ただし、体型、浴槽種類などにより位置は前後します。

● 標準アーム中(850mm)を使用する場合

支柱の位置は、お尻の位置(図2 A点)から床に水平に半径850mm(L)のライン上とします。

図2のように点線のライン上に取付けることが出来ます。ドア・電灯・蛇口・排水口・窓などを配慮し、作業性を考えて位置決めをして下さい。

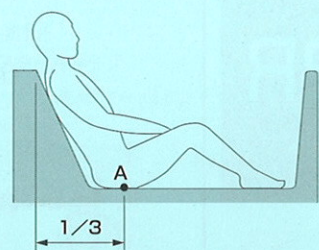


図-1

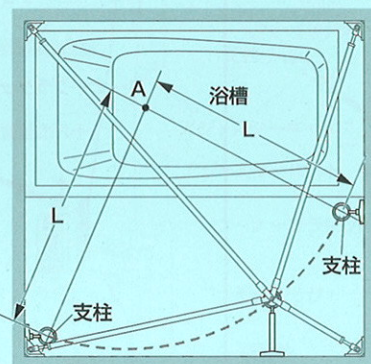


図-2

アーム(大)(中)(小)

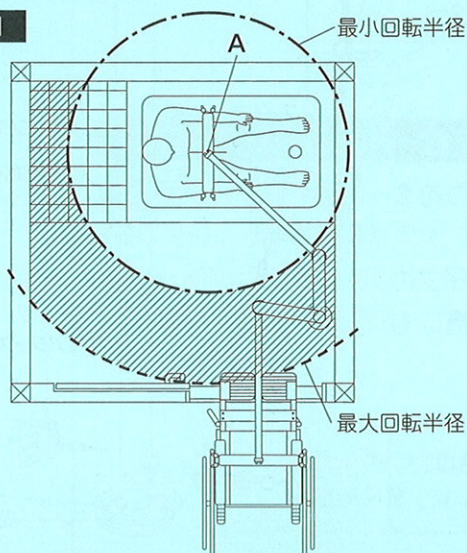
ア — ム・大 950mm(上下ストローク1300mm) L=950mm

標準アーム・中 850mm(上下ストローク1160mm) L=850mm

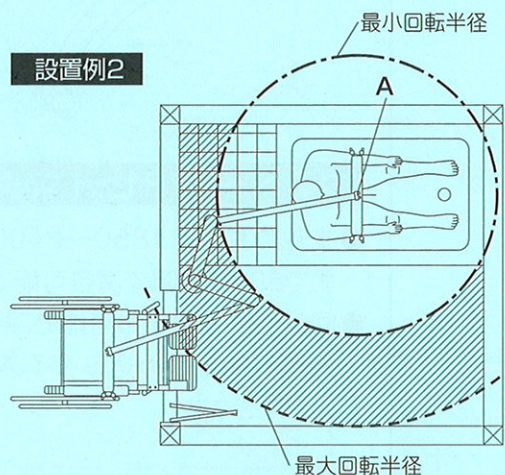
ア — ム・小 700mm(上下ストローク 955mm) L=700mm

■ F2Rセットの位置決め

設置例1



設置例2



斜線の範囲内で支柱を立てることが出来ます。

もっとも使いやすい位置に設置して下さい。



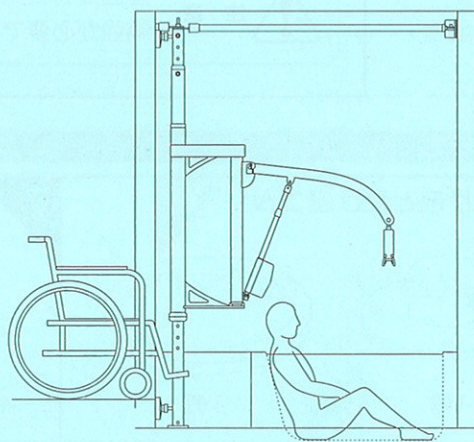
注意

- アームの回転半径内で、壁、手すり、ドアなどが干渉しない位置に設置して下さい。

F2R基本寸法データ

アーム種類	アーム寸法	最大回転半径	最小回転半径
第一アーム 300mm	アーム(大)	950mm	1321mm
	アーム(標準)	850mm	1221mm
	アーム(小)	700mm	1071mm
第一アーム 400mm	アーム(大)	950mm	1421mm
	アーム(標準)	850mm	1321mm
	アーム(小)	700mm	1171mm

*上記支柱の位置決めの方法については、おおよその目安としてご使用下さい。



3. 取付け組立ての手順

※2～3ページのパーツリストをご参照下さい。

1 支柱の長さを決める。

①天井の高さや、突張り棒（イレクターパイプ）の取付け高さを確認し支柱の長さを決めます。

※突張り棒が、**水平になるように**支柱の高さを調整してください。

※照明器具、ドアや窓のサッシなどが邪魔にならないよう注意して下さい。

※支柱の長さは、1850～2400mmまで50mm間隔で調節できます。

②支柱の長さを決めた後、伸縮調整ボルトをしっかりと締めて下さい。

2 支柱アジャスターセットを組立てる。

①背面プレート、イレクターパイプ、支柱アジャスターをサンアローで接着し組立てます。

※支柱の中心位置が壁面より75～100mmの場合は、40mmカットのイレクターパイプを使用し、100mm以上の場合は、イレクターパイプをカットして使用します。

注意 ②組立てた支柱アジャスターセットを、支柱に取り付けます。

3 水準器で支柱の垂直を正確に出す。

①受け座・受け座ゴムを床に置き、その上に支柱を立てます。

②支柱アジャスターセット（上下2カ所）を調節し水準を出します。

③支柱アジャスターセット（上下2カ所）と受け座ゴムの位置を**正確にマーク**します。

注意 ④支柱アジャスターセットのナットを締め、固定して下さい。

4 両面テープと接着剤で支柱を固定する。

①受け座ゴムを、マークした床面に接着剤EP-001で接着します。

※**下地処理**が必要です。必ず7ページの接着剤使用上の注意をお読み下さい。

警告 接着後、24時間（20℃）は使用しないで下さい。

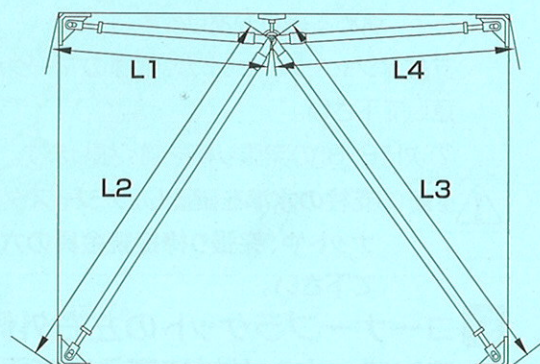
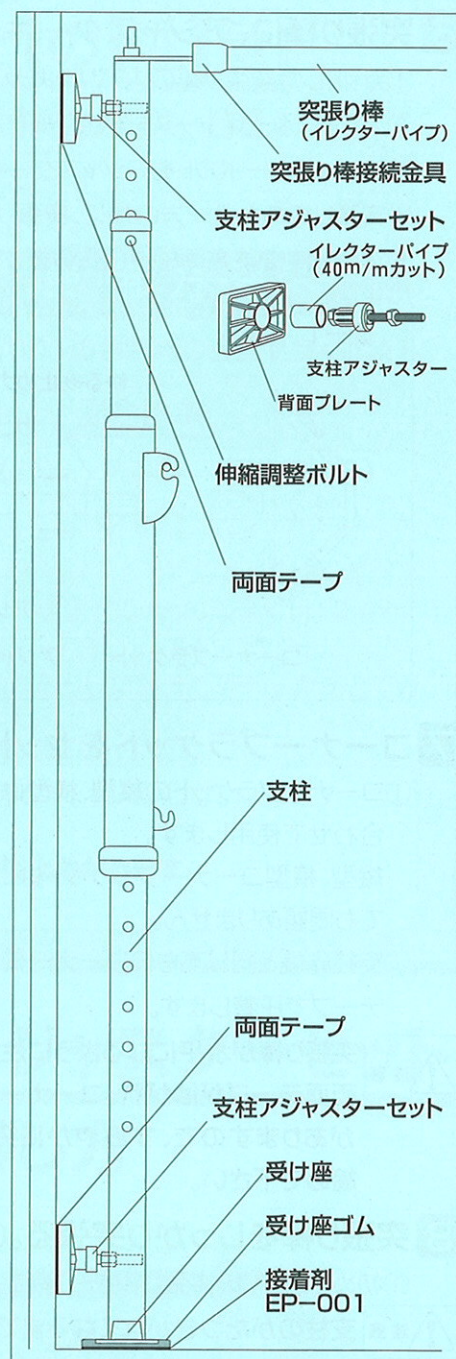
②支柱アジャスターセットを両面テープで、壁面のマークした位置に圧着します。

5 突張り棒（イレクターパイプ）の長さを決める。

①浴室の四か所のコーナーから支柱の中心までの長さ（L1、L2、L3、L4）を正確に測ります。

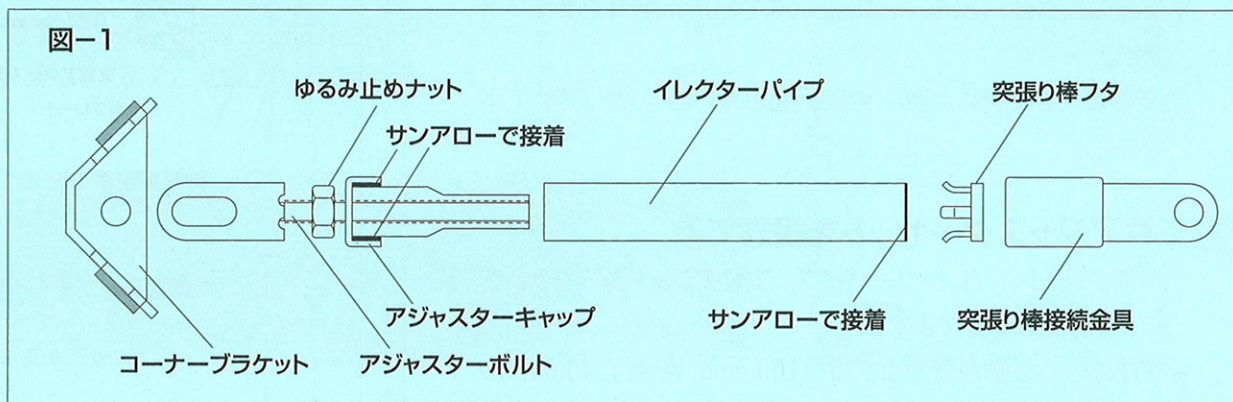
②測定した寸法から130mm引いた寸法で突張り棒をカットします。

※イレクターパイプ用カッターを使用すると便利です。



6 突張り棒に、アジャスターキャップ・アジャスターボルト・突張り棒フタをセットする。

- ①カットした突張り棒の内バリを丸ヤスリなどで削ります。
- ②アジャスターキャップを突張り棒にサンアローで接着します。
- ③アジャスターボルトをアジャスターキャップにセットします。
- ④突張り棒のもう一方の端に、突張り棒フタをサンアローで接着します。
- ⑤突張り棒接続金具を差し込みます。



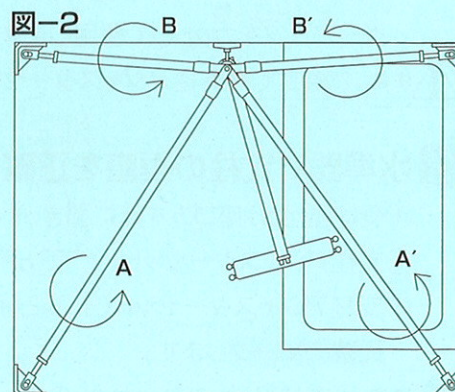
7 コーナーブラケットをセットする。

- ①コーナーブラケットの縦型、横型は、浴室のコーナーの形状に合わせて使用します。
縦型、横型コーナーブラケットはいずれのコーナーに使用しても問題ありません。
- ②支柱先端と同じ高さのコーナーに、コーナーブラケットを両面テープで圧着します。



突張り棒が水平になるように注意して下さい。

両面テープがはがれ、コーナーブラケットが脱落することがありますので、すみやかに突張り棒をセットしナットを締めて下さい。



8 突張り棒をしっかりと突張る。(図2参照)

- ①初めにA・A'の突張り棒を一緒に回転させ突張りを強くします。



支柱のたつきがなくなるまで締めて下さい。

(工具は使用しないで下さい。強く締めすぎると壁面を痛める恐れがあります。)

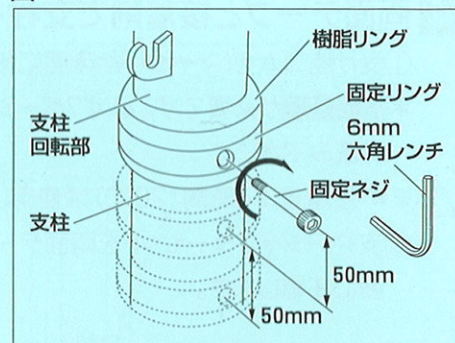
支柱アジャスターセットが、壁面のマークから、ずれないように注意して下さい。

- ②次にB・B'の突張り棒を強く張ります。



③支柱の水準を確認し、アジャスターボルトのゆるみ止めナットや、突張り棒接続金具の六角ネジをしっかりと締めて下さい。

図-3



9 コーナーブラケットの左右外側のスキマをシリコンコーキング材にてうめて下さい。

10 回転部の高さ調整。

- ①図-3のように固定リングの固定ねじを抜いて、高さ調整をします。



●固定リングの固定ねじを必ず、しっかりと固定してください。回転部が落下する恐れがあります。



●アーム最大上昇時に突張り棒にあたる場合がありますので、固定リングの位置を正しくセットしてください。



接着剤使用上の注意

エポキシ変性シリコーン弾性接着剤 セメダインEP-001

必ず表面処理をして下さい。

浴室の床面は、石鹸やシャンプー、人体から出る脂肪分などが付着しており、接着剤が付きにくくなっています。また、ユニットバス床材は、FRP等を使用していますので、表面にワックスや離型剤が塗布されています。このため接着効率があまり良くありません。

接着表面処理方法

添付のサンドペーパーで表面を研磨して下さい。
接着面の水分、ほこり、油分は良くふき取して下さい。

参考

- 床面に勾配がある場合、接着後、横ズレすることがあります。横ズレしないようにテープ等で仮どめして下さい。
- 必要強度に達するまでに、室温(20℃)で24時間以上かかります。
- 寒冷地につきましては、必ずお問い合わせ下さい。

使用方法

接着剤EP-001の包装紙の裏面を良くお読み下さい。

混合比率

主剤(A) : 硬化剤(B)

ブルーのチューブ 1 : 1 ピンクのチューブ

の割合で全体がクリーム色になるまで良く混ぜ合わせて下さい。直径120mmの面積には10g程度の量を使用して下さい。(多めに混合し、上から荷重をかけ、はみ出した部分は硬化したあとでカットして下さい。)

4. コーナーブラケット、支柱アジャスターセット、受け座・受け座ゴムの取り外し方

1 コーナーブラケット、支柱アジャスターセット

- ①図-1のように、接着面にカッターナイフを差し込み壁面を痛めないようにカットして下さい。
- ②粘着テープが壁面に付着した場合は、こすれば剥離できますが、きれいに剥離できないときは壁面の材質に応じた剥離剤を使用して下さい。

2 受け座、受け座ゴム

- ①図-2のように受け座を受け座ゴムよりはずします。
- ②次に受け座ゴムを端の方からゆっくりと剥離して下さい。このときカッターナイフで接着剤をカットしながら取り外します。床面を傷つけないように注意して下さい。
- ③残った接着剤はカッターナイフで剥離するか、こすらかしてはがして下さい。

図-1

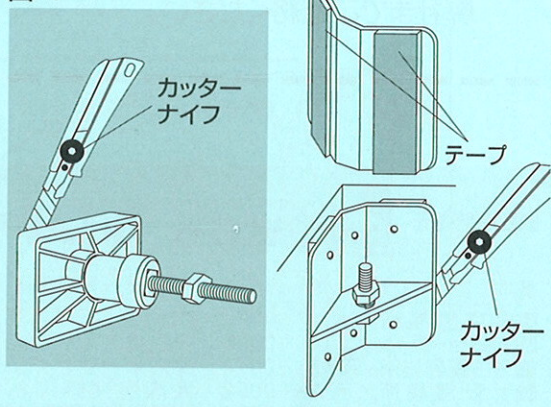
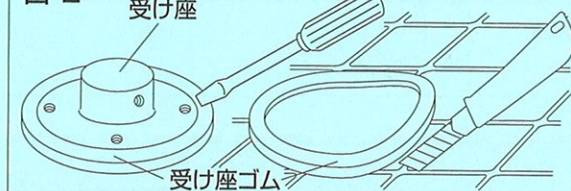


図-2



6. お引渡し前の安全確認

(1) 無荷重状態でアーム、モーターをセットし、スイッチにて上昇・下降のテストをする。

確認項目	対処方法
異常な金属音や振動、不自然な動き	→ 本体が正しくセットされているか確認する。
モーターが動かない	→ 電源、スイッチ、モータープラグの差し込みを確認する。
モーターがカラ回りし、上昇・下降しない	→ アームに荷重をかけながらスイッチを操作する。

(2) 荷重状態で、上昇・下降および回転の作動テストをする。

確認項目	対処方法
異常な金属音や振動、不自然な動き	→ 本体が垂直に正しくセットされているか確認する。
本体のガタつき	→ ネジのゆるみ、突張り棒のアジャスターボルトのガタつき、ゆるみがないか確認し、増し締めをする。
アームの可動範囲の障害物	→ 本体または障害物を移動させる。

お願い

上記の確認項目・対処方法を行っても正常に作動しない場合には、必ず販売店または、弊社までご連絡ください。